

各 位

東京都渋谷区渋谷三丁目 6 番地 6 号
 株式会社駐車場総合研究所
 代表取締役社長執行役員 柳瀬 聰
 (コード番号: 3251)

問い合わせ先 取締役執行役員経営管理本部長 加藤 隆行
 電話 03-3406-2477

特別損失の計上及び通期業績予想（個別）数値と実績値との差異
並びに剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 3 月期決算において、下記のとおり、個別財務諸表に係関係会社株式評価損（特別損失）を計上することと致しましたのでお知らせ致します。

また、平成 24 年 5 月 11 日に公表した平成 25 年 3 月期（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）業績予想（個別）と実績値について下記のとおり差異が発生致しましたのでお知らせ致します。

更に、本日開催の取締役会において、平成 25 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当につき、下記のとおり決議致しましたのでお知らせ致します。

記

1. 特別損失の計上について

当社の連結子会社 2 社に対する株式投資について、現在の事業環境から今後の見通しを勘案した結果、投資回収が長期に渡るとの判断に至り、関係会社株式評価損として個別損益計算書に特別損失 81 百万円を計上することと致しました。

なお、当該関係会社株式評価損については連結決算上相殺消去されるため、連結業績予想には影響ありません。

	個別	
関係会社株式評価損（特別損失）	81 百万円	
(内訳)		主な要因
派蒙蜂巢停車場管理（北京）有限公司	36 百万円	近年の中国における物価上昇による想定以上の賃料保証額の設定、労働者賃金の上昇から不採算が続き、財政状態が悪化しております。
派盟静態交通技術開発（天津）有限公司	45 百万円	大規模案件を多数受注し、平成 25 年 3 月 31 日現在で 6,425,500 人民元（日本円換算約 97 百万円）の受注残高があるものの、その多くが長期的な案件であり、検収時期が未定となっております。

2. 平成 25 年 3 月期個別業績予想数値との差異について

(1)平成 25 年 3 月期個別業績予想数値と実績値との差異（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）
（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,201	200	104	14 円 30 銭
実績値 (B)	5,209	227	50	6 円 87 銭
増減額 (B-A)	8	26	△53	
増減率 (%)	0.2	13.4	△51.8	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 3 月期)	4,585	177	93	12 円 92 銭

(2) 差異の理由について

売上高及び経常利益につきましては、駐車場オーナーや利用者のニーズに応えるべく様々な施策を取り入れ、解約現場を僅少に抑えることに成功するとともに、新規顧客先や既存オーナー様への積極的な提案を行った結果、45現場3,701車室の純増により売上は計画通り推移致しました。

一方、徹底的したコスト見直し等により、売上原価、販売費及び一般管理費の削減により経常利益については、計画を上回る結果となりました。

当期純利益につきましては、当社が保有する連結子会社 2 社の関係会社株式を評価減し、関係会社株式評価損（特別損失）として、81百万円を計上したことに伴い、前回予想を修正致します。

なお、連結業績については、個別の関係会社株式評価損（特別損失）は連結決算上相殺消去されるため、影響はありません。

3. 剰余金の配当（増配）

(1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 24 年 5 月 11 日公表)	前期実績 (平成 24 年 3 月期)
基準日	平成 25 年 3 月 31 日	同左	平成 24 年 3 月 31 日
1 株当たり期末配当金	3 円 90 銭	2 円 80 銭	2 円 80 銭
配当金の総額	29,015 千円	—	20,408 千円
効力発生日	平成 25 年 6 月 28 日	—	平成 24 年 6 月 29 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2)理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つと考え、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

以上の基本方針を踏まえ、通期業績の動向や財政状況、今後の見通しを踏まえ、株主の皆様のご支援、ご期待にお応えするため、上記のとおり増配を実施致します。

以上